



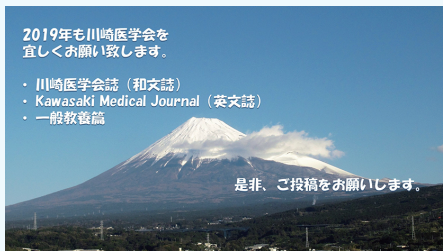
radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

さて、大槻は川崎医科大学の中にある学内の学会である川崎医学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生にエリアに入るところには、メールボックスがあって、そこにデジタルサイネージが設えてあります。いろいろな情報を掲示するのですが、医学会として発行している機関誌への投稿を促すスライドを月の前半2枚、後半2枚で流しています。友人の Ms. Keiko C の描いたイラストを使わせてもらったり、自分で撮った写真を使ったっています。

では、2019年の1月と2月のスライドを紹介します。



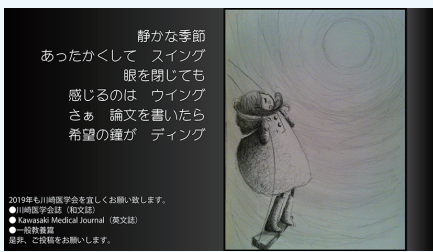
まずは、新年のご挨拶～自分で新幹線から撮影した写真なので、雲もご愛敬です。今年もよろしくお願い致します。



そして、寒い冬でも夜空を見つめてみると冴え渡っていて、気持ちもキリリと引き締まります。



冬の黄水仙。いくつかの公園などでも目にします。やはり冬には、あまり花々を見かけないのでも見つけると気持ちが華やぎます。



イラストの少女は暖かいコートに身を包んで、ブランコに揺られています。体と一緒に心もスイング！



2月はやっぱバレンタイン。手作りがいよいよね。そして、お友達と交換しよう！小さな袋に詰めていくのも、それはそれで楽しいものだよ！



大きなマフラーで鳥さんとヒヨコさんを守ってあげるよ！ ちょっとだけ粉雪が舞い始めているけど、大丈夫？



目白を見かけると、それでも春の息吹を感じることができます。石井邦子さんの句に「梅咲くと目白忙し枝移り」



さて、ちょっとアンニュイで、ちょっとコケティッシュで、心が騒めいてしまうけど、キミはにゃんこ？ キミも春を待っているのかな？ チューちゃんもしっぽの先で仲良ししてるんだね？

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。iTunesではリリースしていませんが……。

【思い出を忘れて】

あれは 何だったのか 夏の陽に輝く君の瞳の 銀色のさざ波は 初めての 旅に出た二人の 初めての ときめきは

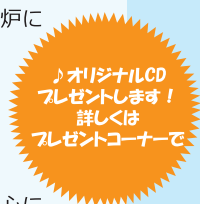
あれは 誰だったのか 金色の落葉を そっと一枚 手渡してくれたのは 優しさが 芽生え行く心に 舞い踊る 天使たち

雪の 静かな夜は あたたかい暖炉に 甘い蜜と 一杯の珈琲が 銀色の 世界には二人の 微笑みが あったのに

何も 分からないけど お互いの心に 別離がやってきたことは わかるのさ 今 君に 涙して 告げよう さようなら さようなら

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_

皆様にとってステキな 2020 年になりますように。そして2020年はオリパラ。ステキな新年を。



プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15&18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出演
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学(医学研究)
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
現在に至る